

学生向け講座 受講者倍増 富山くすり

県内の医薬品分野の産学官でつくる「『くすりのシリコンバレーTOYAMA』創造コンソーシアム」が取り組む学生向け教育プログラムについて、2025年度の受講生は87大学・279人で、24年度の51大学・134人から人数が倍増した。対象学部を拡大した影響とみられ、県は人材確保につながると見込む。県が23日、県民会館で開いた薬事審議会で説明した。

プログラムは「ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース」。県や富山大、県立大が23年度から実施し、オンライン授業や県内製

対象学部拡大が影響

薬企業での見学体験会を通して、医薬品産業の担い手を育てている。25年度からは薬学と理工系に加え、農、水産、獣医、畜産各学部の学生を参加対象とし、講座数も増やした。

県の担当者は受講生279人のうち、県内の製薬会社の見学体験会には28人が参加し、うち24人が県外在住者だったほか、プログラムの参加者アンケートでは、県内就職に意欲を示す回答の数が24年度に比べて増えたと説明。「人材確保にも成果が見られている」と述べた。